

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	65	学校名	仙台市立芦口小学校	校長名	沼田 道野
------	----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
芦口環境大使～わたしたちにできること



2 取組の紹介

○5年生総合「グリーンカーテンへの取り組みとヘチマ博士の授業（命のバトン）」

5年生の総合的な学習の時間では、私たちの周りにおける様々な環境問題について話し合いました。私たちにできることとして、芦口小学校でこれまで取り組んできたグリーンカーテンの効果を実証することに取り組みました。グリーンカーテンにより気温が上がりにくくなり、見た目にも涼しさを感じられることが分かりました。

また、ゲストティーチャーをお招きして、ヘチマの育ち方や種のでき方についてお話をうかがいました。1つの種からたくさんの種ができ、命が続いていくことの大切さを学ぶことができました。



○ふれあいお弁当・ふれあい朝ごはんの日

芦口小学校では、食に関する指導の一環として、ふれあいお弁当とふれあい朝ごはんの日を設けています。ふれあいお弁当の日は、家の人と一緒にお弁当の買い物をしたり、献立を考えたりします。ふれあい朝ごはんは、長期休業中に設定されていて、家族や自分のために朝ごはんを作り、家族と一緒に食卓を囲みます。どちらも取り組みの様子をカードにまとめて提出しますが、栄養士も驚くような献立や盛り付けの写真が紹介されています。

○栄養士による給食中の食育指導

本校の栄養士が、毎日給食中に各クラスを巡回し、献立についての紹介や食べ方のアドバイスをしています。給食への興味がさらに高まり、残食の減少にもつながっています。

3 取組の成果

環境問題について調べたり、ゲストティーチャーの話を聞いたりしたことで、子供たちは自分たちに何ができるかを考え、実践しました。公園のゴミ拾いや家庭での節電・節水などに取り組ましました。学校での取り組みが家庭へと広がり、学習した後も環境について考えるきっかけになりました。来年度は、学校全体や地域へと活動を発信していきたいと思えます。



校庭でゴミ拾いもしています